

日時：12月2日(日) 曇り時々晴れ

参加：岡本(L) 佐々木裕(記)

富田林駅前に集合、2名と少し寂しいが9時50分の金剛バスで出発。今日の中尾ノ背コース、水口さんの金剛山城再発見シリーズ(23コース)で登った事あったかな?、確か登ったコースだったよな!。思い出しながら葛城登山口に到着。

水越トンネル横から石筆橋を渡り、石ブテ谷左沿いの舗装された林道を辿ると道なりに山道となる。ほどなく道は急登となり木々をつかんで登る箇所もあり息が上がる、中尾ノ背(尾根道)である。

50分程強弱のある登りの後、小広い分岐点着。さらに進む事10分程で急に開けた道と出合う。六道ノ辻への尾根道で道標がありホットする。踏み跡は比較的しっかりしており、道は判り易い。

六道ノ辻から大日岳にかけては、ハイカーがチラホラと目に付く。左手の道から葛城神社へ、樹氷の間に葛城山の眺めが良好だ。社務所前は相変らずハイカーがたくさん集う。我々もさっそく昼食タイム、急ぐ事は無いゆったりと時を過ごす。

下山は、予定どうりタカハタ道を選ぶ。茶店前で靴を洗ってバス停へ、運良くジャストタイム、走り込んで乗車。河内長野で反省会后、無事帰阪、お疲れさんでした。

本日の金剛山は、直登/直下降4時間と効率が良い山行であった。登り道は踏み跡がしっかり付いており、キツイとはいへ迷う事は無いように思う。

ちなみにこのコース3年半前に、石ブテ谷から東谷を沢登りで懸垂下降のトレーニングをしながら詰め、中尾ノ背からP965の広場に直接出る(谷道)から登っていました。自分で山行報告も書いていたのに、なんとも記憶のあいまいさに驚かされるしまつでした。

<参考タイム>

登山口10:20—石筆箸10:30—中尾ノ背—六道ノ辻11:50—12:15金剛山頂
13:15—14:15登山口 <行動 3:55>